

じんぼ まさし
神保 政史

年初に思うこと・・・

●電機連合・書記長

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

皆様におかれましては、「令和」最初のお正月をご家族やご友人と健やかに過ごされたことと思います。

2020年が皆様にとって充実した年になることをご祈念申し上げます。

～2019年を振り返って～

2019年5月1日に元号が「令和」に改元され、新天皇、皇后が即位され、厳かな神事や祭典、パレードなど日本中がお祝いムードに包まれ、新たな時代が幕開けしました。

一方、残念ながら2019年も自然災害が多く発生してしまいました。被災されたすべての方々にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く元の生活を取り戻されることを心よりご祈念申し上げます。

地球温暖化による異常気象の影響から、近年の台風や暴風雨は勢力が強く、毎年のように甚大な被害をもたらしています。世界各地で地球温暖化の影響といわれる自然災害が猛威を振るっています。一刻も早く、世界各国が連携して、実効性ある地球温暖化対策に取り組まなくてはなりません。各国がそれぞれの事情を優先しているため、足並みが揃っていないのが実態です。このままの状態が続けば、さらに温暖化が加速し、地球規模で深刻な災害が多発することが予測されています。美しい地球を後世に残すために私たち一人ひとりが、考え、行動しなくてはならないと痛

切に感じました。

～2020年総合労働条件改善闘争に向けて～

年明けから2020年総合労働条件改善闘争が本格的にスタートします。

今年は7年連続となる賃金水準の改善と労働協約改定、働き方改革など多岐にわたる項目を掲げて交渉に臨む予定です。

電機連合では、2014年闘争から6年間で30歳基幹労働者の月例賃金を10,000円引き上げてきましたが、依然として実質賃金はほぼ横ばいで推移しています。この間、米中通商問題などのネガティブな要因はあるものの、企業の収益力や財務体質は強化され、内部留保は昨年引き続き最高を更新しているのが実態です。

産業の持続的な成長に向けて、企業が投資のために経営資源を確保することは十分に理解できることですが、ステークホルダー全体に目を配り、利益の分配は公正でなくてはなりません。ここ数年の労働分配率を見ますと、低下傾向が続いており、働く者への利益の公正な配分がなされているとは言い難い状態が続いているのです。働く者への公正な配分がなされて、モチベーションの向上や生活の豊かさにつながり、そのことが結果として企業や経済の成長に結びつきます。「人」をいかにするために、賃金や労働条件、職場環境や教育投資、国レベルでは社会保障や教育、セーフティーネットなど広義な「人への投資」を積



極的に投じることが、社会や経済の持続的な成長につながります。2020年闘争では、改めて「人への投資」の必要性を強調し理解を求めていきます。

～働き方改革の取り組み～

2019年に施行された働き方改革関連法の周知徹底と遵守はもちろんのこと、現場実態に応じた働き方改革を推進していく必要があります。

日本は超少子高齢化社会、人口減少社会を迎えています。経済の持続的成長のためには、多様な人材が活躍できる環境整備が喫緊の課題であり、そのためには長時間労働を前提としない生産性の高い働き方が求められています。

すべての労働者が安全で健康に働くことができ、働きがいをもって能力を最大限発揮できる環境を整備することが、労働の質と生産性の向上、個々人の働きがいと生活の豊かさにつながります。

電機連合では、2017年闘争にて「長時間労働の是正をはじめとする働き方改革に向けた労使共同宣言」にて、長時間労働の是正をはじめとする働き方改革の実現のためには、労使が相互に協力し、多様な人材の活躍や生産性向上の実現に向けて最大限の努力を行うことを確認し、これまで各社の状況に応じた取り組みを精力的に推進してきました。

これらを継続して取り組み、基本的考え方

に基づいた施策を強化・拡充し、生産性が向上した成果を「人への投資」に還元していくことが重要になります。

また、これらの施策を進めることによって、一部の企業や管理職に負担がかかることになっては本末転倒です。長時間労働の是正をはじめとする働き方改革は、全体で進めていかなくてはなりません。

2020年闘争では、賃金水準の改善と働き方改革を推進し、生産性の向上につなげ、経済好循環を生み出し、その成果を公正に配分するサイクルの契機にしたいと考えています。

～おわりに～

いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。

オリンピックは「平和の祭典」といわれます。これは、オリンピック憲章に「世界平和の維持と確立に寄与することをその主たる目的とする」と謳われており、紀元前8世紀ごろ、古代ギリシャの王が絶え間のない都市国家間の紛争を憂いて、一時だけでも争いを中止させる手だてはないかと、切なる願いを込めてスポーツを取り上げたのが起源とされています。

今、世界では各国が連携して事にあたらないと解決できない深刻な課題が山積しています。2020東京オリンピック・パラリンピックが真の平和の祭典になることを願うばかりです。